



IXIL 手すり スクエアタイプ・後付けベース材 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

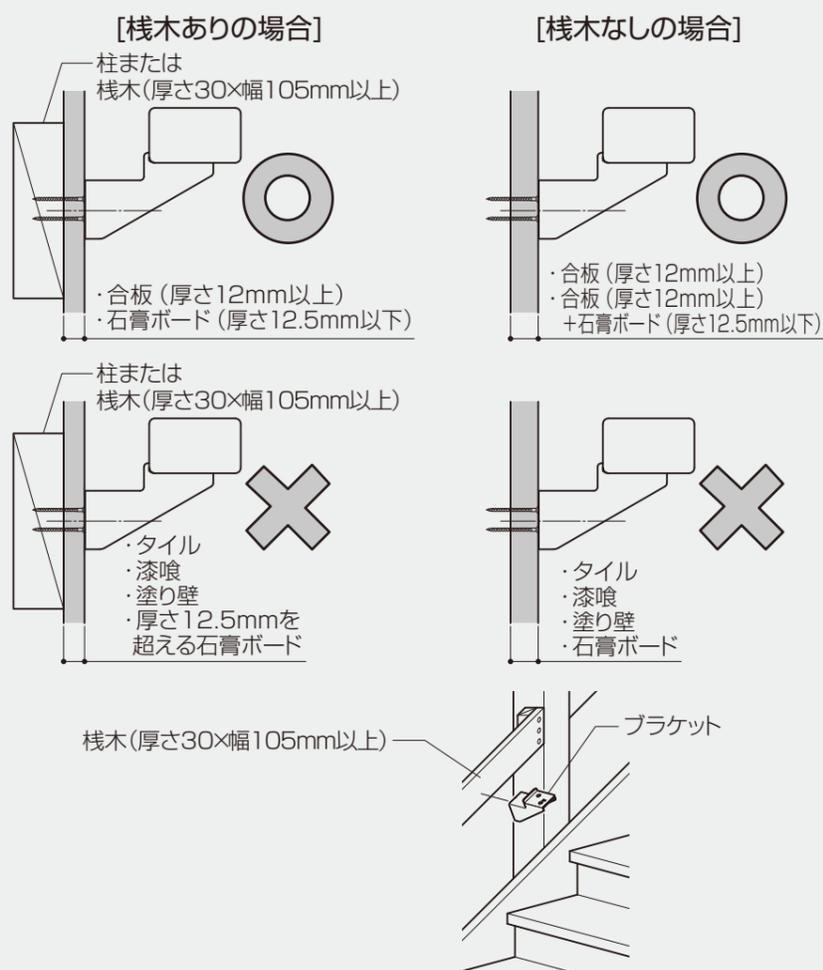
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

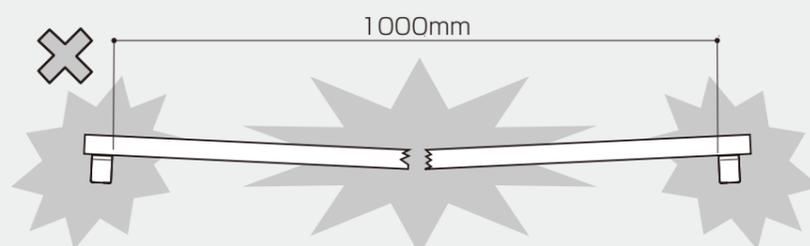
●手すり脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・ブラケットは、石膏ボードなどの壁下地材のみに直接取付けることはできません。必ず桟木(厚さ30mm×横105mm以上)や柱に取付けるか、下記の下地条件にて設置してください。

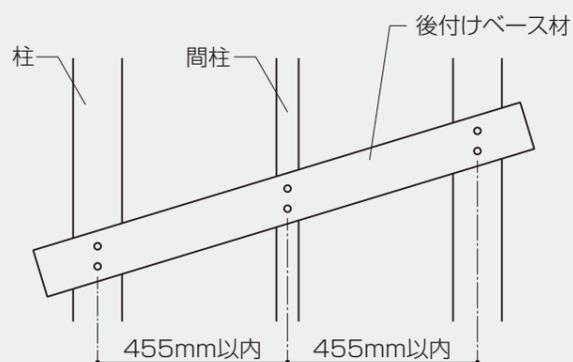


- ・桟木は柱または間柱に固定してください。
- ・後付けベース材は柱・間柱などの構造材に取付けてください。石膏ボードの下地材に後付けベース材を取付けることは、強度不足のためしないでください。
- ・石膏ボードの壁下地材は12.5mm以下の厚みでGB-R以上の表面強度のものにしてください。柱、合板や桟木へのねじの掛かりが浅いと、ブラケットが外れるおそれがあります。
- ・石膏ボードの二重貼り、軽鉄下地、塗り壁などには使用しないでください。
- ・タイルやエコカラットなどの厚みがあって割れやすい壁仕上げ材には施工しないでください。
- ・仮固定中の手すりとブラケットを故意に揺すったり、力を加えないでください。
- ・ブラケット・後付ベース材の壁への固定または手すりスクエアタイプの取付けには必ず同梱のねじを指定の本数使用してください。また本施工の際は、着脱用ねじの増し締めをおこなってください。

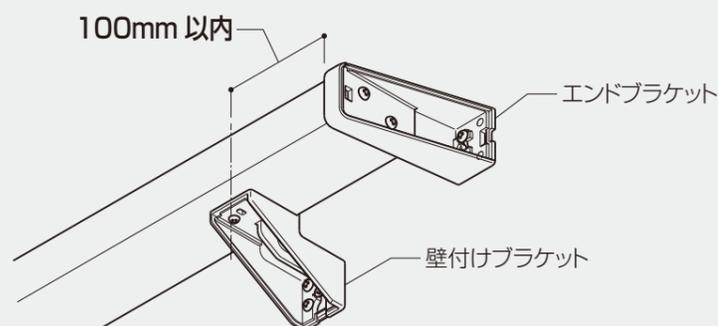
- ・本施工用のねじで必ず本固定をしてください。
- ・ブラケットの取付け間隔は900mm以内にしてください。



- ・接続金具を使用する場合は、接続金具の両端100mm以内に壁付けブラケットを取付けてください。
- ・手すり棒は、エンドブラケット、接続金具の奥まで差込んで固定してください。
- ・後付けベース材を使用する場合は、ねじ固定の間隔を水平方向に455mm以内にしてください。



- ・当製品は室内用です。水がかかったり極端に高温なところでは、腐ったり材割れを起こし、取付け強度が低下するため、使用しないでください。
- ・手すり棒、後付ベース材には指定の下穴をあけてください。材割れ・取付け強度不足の原因となります。
- ・エンドブラケットから100mm以内に壁付けブラケットを取付けてください。



- 手すり端部の間隔を40mm以上離してください。40mm未満にすると指が挟まるおそれがあります。
- 施工に使用する接着剤は必ず指定の接着剤を使用して取付けてください。指定外の接着剤での取付けははがれ、脱落の原因となります。

■取付け上のお願い

- 棧木を取付ける場合は、使用される方の手すり高さ(踏板の先から手すり上端まで)に合うよう、確認して取付けてください。
- 納品時に、各部材を必ず検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前に、お買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、キズを付けないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 手すり棒は乾燥しており、カビ・シミはありません。万一水がかかった場合は、すぐに乾いた布などでふき、乾燥させてから養生してください。部材のふくれ・割れ・シミなどの原因になります。
- クロスを張る際、手すりを着脱する場合は、必ず手すりを着脱する人にこの取付け説明書をお渡しください。
- 11mm厚の後付け用ベース材を設置の際は必ず指定の接着剤を指定の量塗布してください。浮きによる外観不良になるおそれがあります。
- 仮固定作業中は施工場所周囲に安全防護柵を施すなど、手すりが使用できないことがわかるようにするようにしてください。
- 11mm厚の後付けベース材取付けには必ず市販もしくは有償部品(NZZZ223)のSG-1(変成シリコン樹脂系接着剤)を使用してください。また、接着剤に記載してある使用方法・注意事項を守ってください。
- 接着剤(SG-1)の張合わせ可能時間は23℃で10分以内、30℃で5分以内となるため、接着剤塗布後は速やかに施工してください。張合わせ可能時間を過ぎると接着剤表面が硬化し接着不可能となります。また、取付後は接着剤が硬化するまで(24時間以上)養生してください。

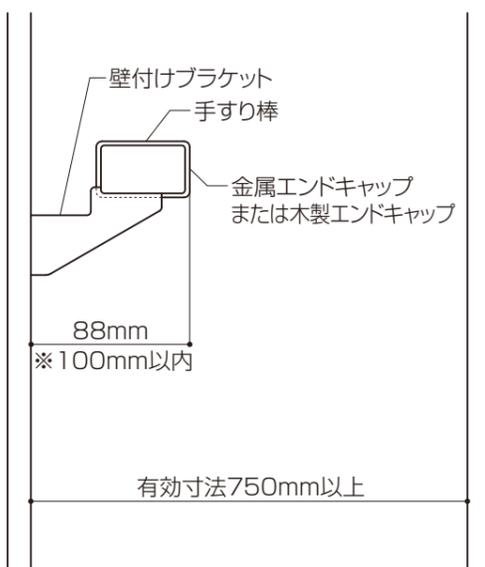
■施工前の確認

■手すりの設置位置

階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。下記の条件を満たしているか設置場所を確認してください。

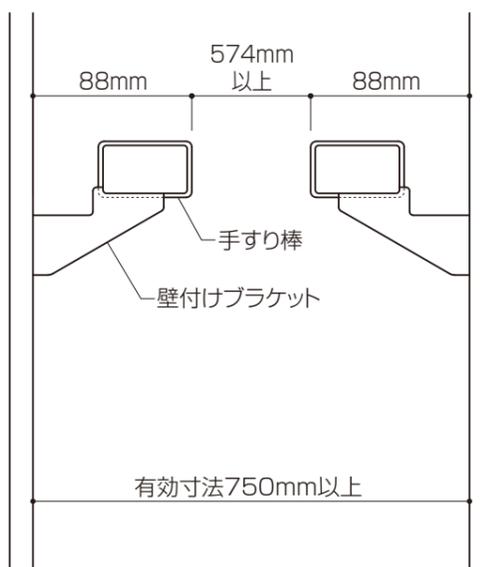
①片側に手すりを設置

※手すりの幅が100mm以内であれば、階段有効幅に関係しません。

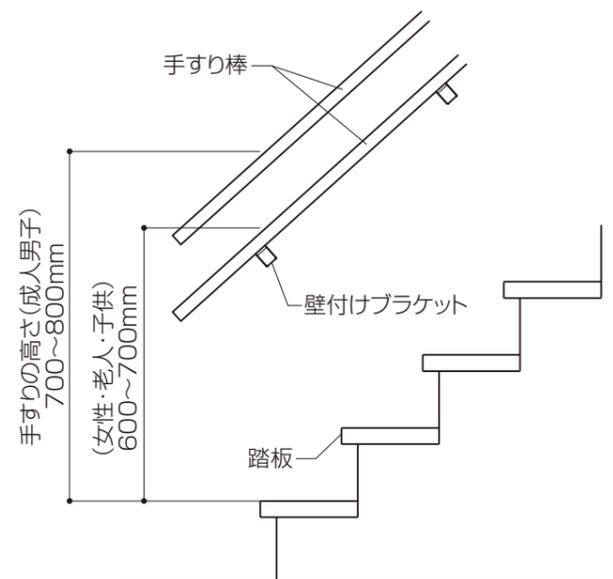


②両側に手すりを設置

※手すり先端間が574mm以上必要となります。



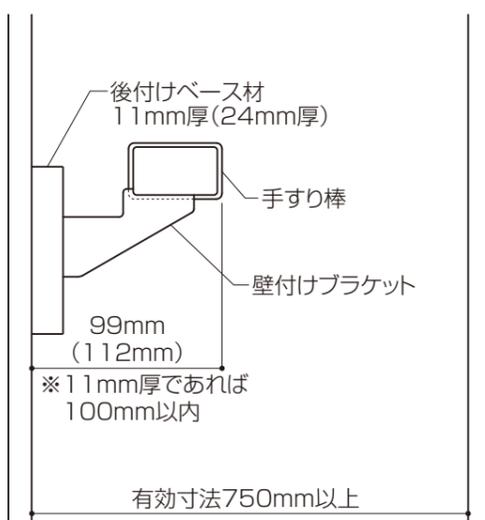
③手すりの高さ位置(参考)



【後付けベース材を使用する場合】

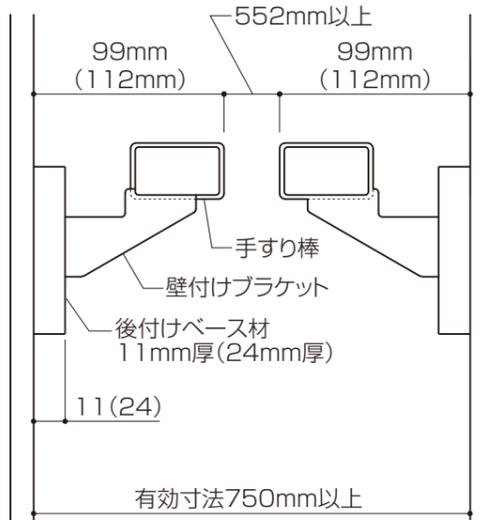
①片側に手すりを設置

※手すりの幅が100mm以内であれば、階段有効幅に関係しません。

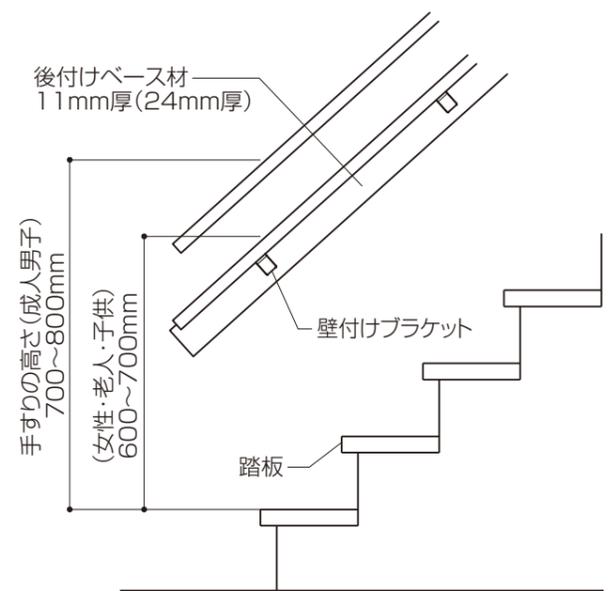


②両側に手すりを設置

※手すり先端間が552mm以上必要となります。



③手すりの高さ位置(参考)

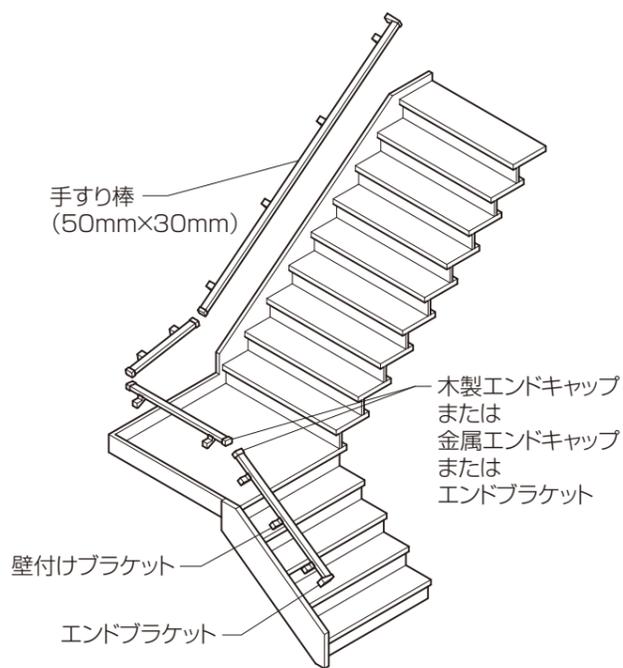


() 内寸法は、後付けベース材 24mm 厚の場合の寸法を示す。

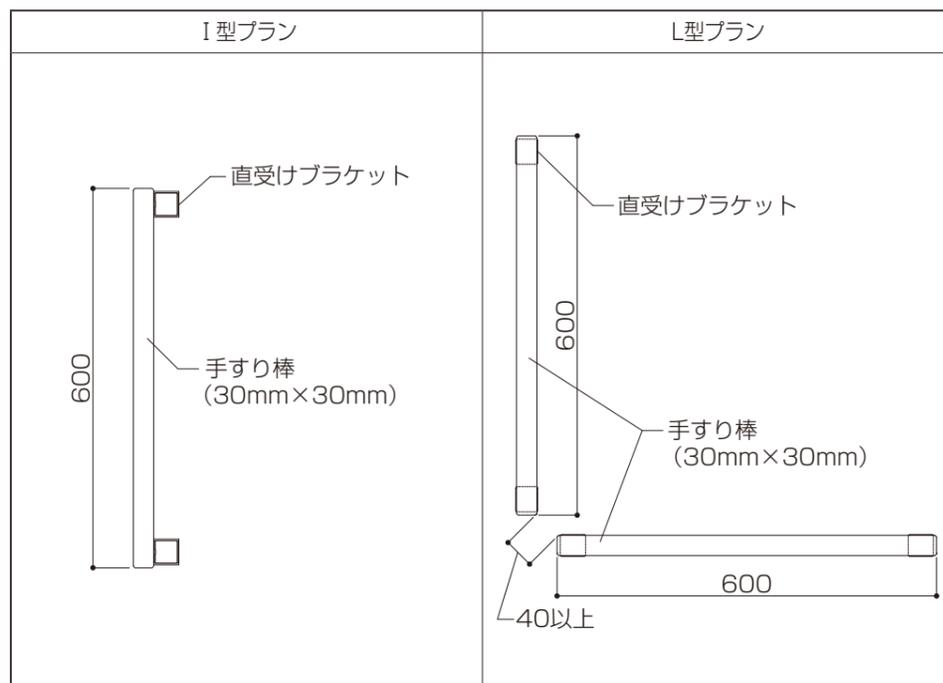
■各部の名称(参考)

※階段形態により手すり取付けのパターンが異なります。

■階段手すり外廻り(参考例)



■その他の納まり

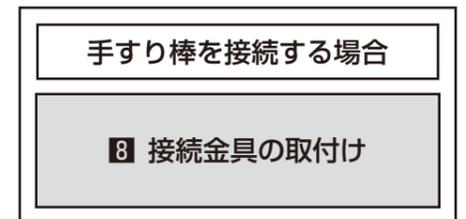
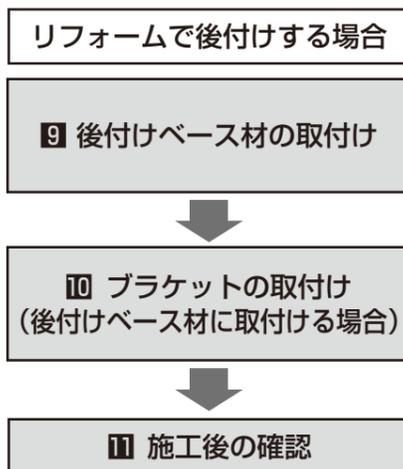
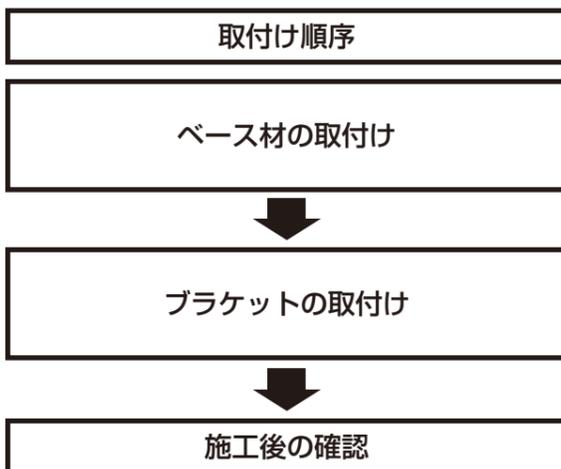
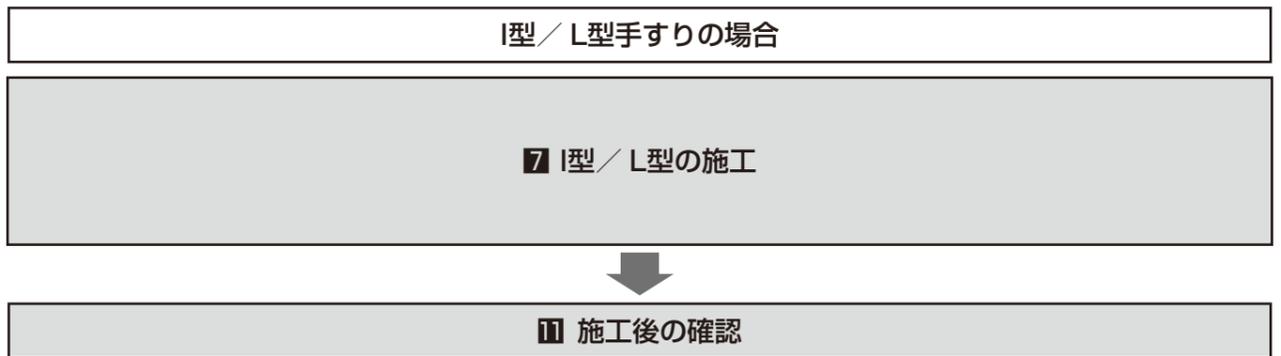
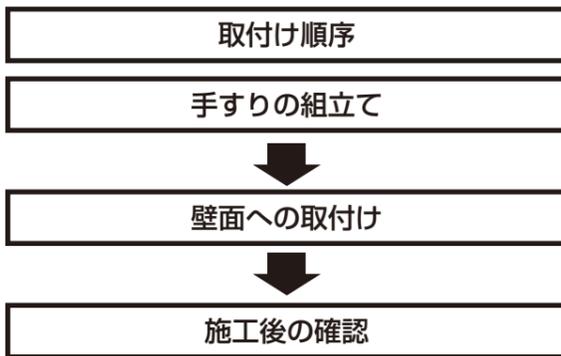
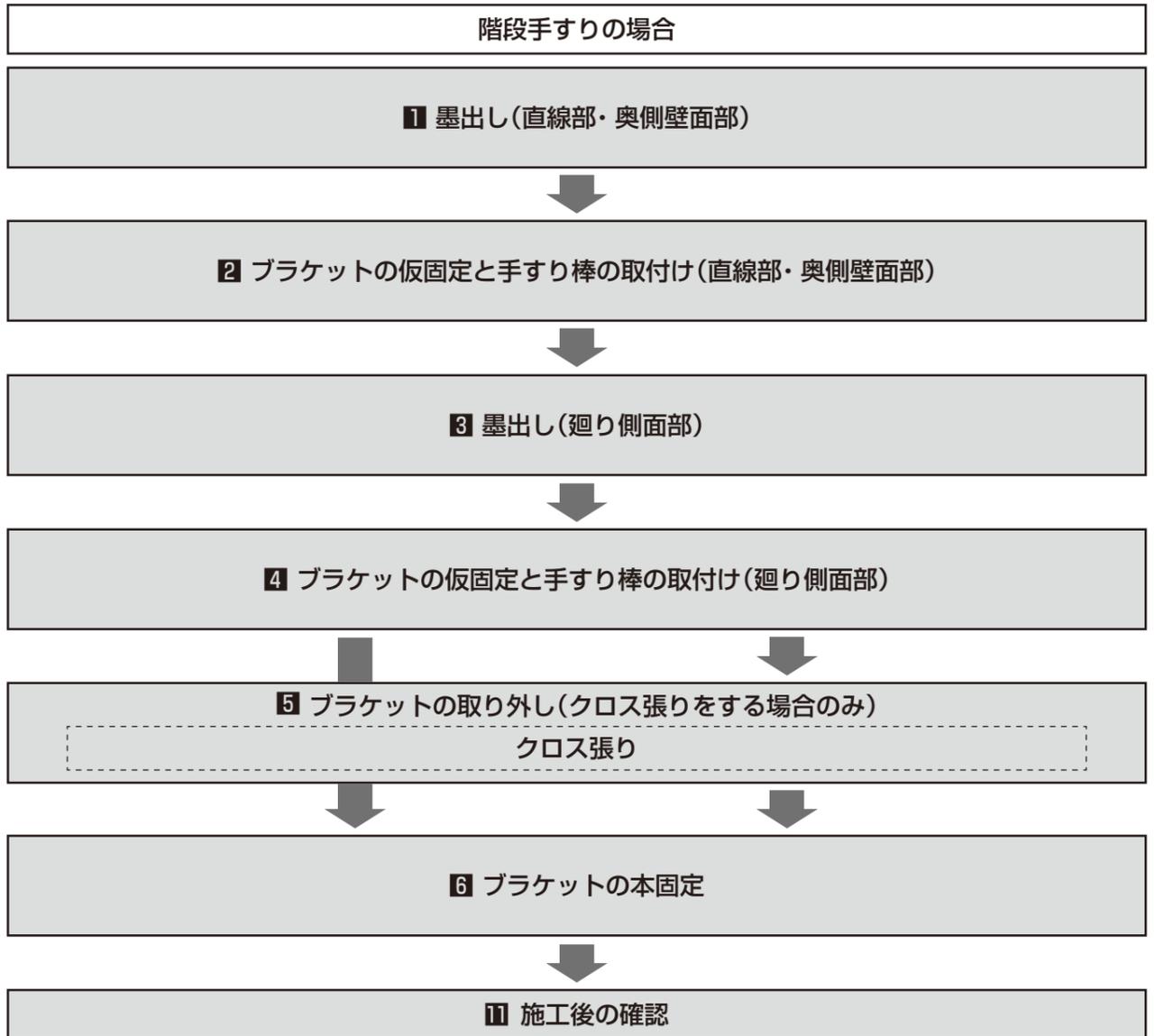
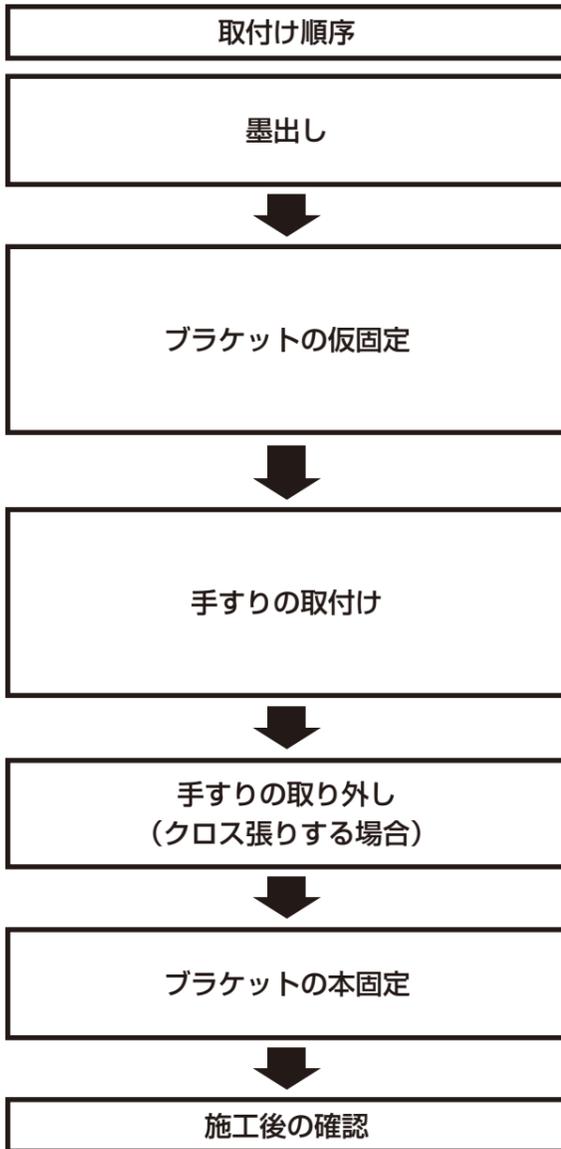


■部品・部材の明細

手すり棒(50mm×30mm)	手すり棒(30mm×30mm)	金属エンドキャップ	木製エンドキャップ											
<p>手すり棒 (50mm×30mm) 位置出しテープ</p> <p>50 30 2000・3000・4000</p> <p>※同梱…取付け説明書(1部)</p>	<p>手すり棒 (30mm×30mm)</p> <p>30 30 600</p> <p>※同梱…取付け説明書(1部)</p>	<p>金属エンドキャップ 丸皿タッピン先割れねじφ3.5×20 ねじ隠しカバー</p> <p>×2 ×2 ×2</p> <p>12 54 34</p>	<p>木製エンドキャップ</p> <p>×2</p> <p>10 54.5 34.5</p>											
<p>壁付けブラケット</p> <p>壁付けブラケット なベタッピン先割れねじφ3.5×20 注意書きシート 皿タッピンねじφ4×30 ねじ隠しカバー 本固定用なベタッピンねじφ4×40</p> <p>×2 ×2 ×2</p> <p>32 70 60 42 85 32</p>	<p>エンドブラケット</p> <p>エンドブラケット なベタッピン先割れねじφ3.5×20 注意書きシート 皿タッピンねじφ4×40 ねじ隠しカバー 本固定用なベタッピンねじφ4×40</p> <p>×2 ×2 ×2</p> <p>40.5 88 30 60 36</p>	<p>直受けブラケット</p> <p>直受けブラケット なベタッピン先割れねじφ3.5×20 なベタッピンねじφ4×30 ねじ隠しカバー</p> <p>×2</p> <p>67.5 52.5 32 38 37.5</p>												
<p>接続金具</p> <p>接続金具 丸皿タッピン先割れねじφ3.5×20</p> <p>20 54 34</p>	<p>後付けベース材</p> <p>後付けベース材</p> <p>11(24) 2000-4000 90</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2000用</th> <th>4000用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皿木ねじφ4.5×63</td> <td>20本</td> <td>30本</td> </tr> <tr> <td>φ4.5ワッシャー</td> <td>20個</td> <td>30個</td> </tr> <tr> <td>ワッシャー用キャップ</td> <td>20個</td> <td>30個</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内寸法は、後付けベース材24mm厚の場合の寸法を示す。</p>		2000用	4000用	皿木ねじφ4.5×63	20本	30本	φ4.5ワッシャー	20個	30個	ワッシャー用キャップ	20個	30個	<p>後付けベース材専用端部材</p> <p>後付けベース材専用端部材</p> <p>94 16(26) 28</p> <p>()内寸法は、後付けベース材24mm厚用の場合の寸法を示す。</p>
	2000用	4000用												
皿木ねじφ4.5×63	20本	30本												
φ4.5ワッシャー	20個	30個												
ワッシャー用キャップ	20個	30個												

■施工のながれ

※クロス張り後に手すりを取付ける場合は、「**5**ブラケットの取り外し」は不要です。



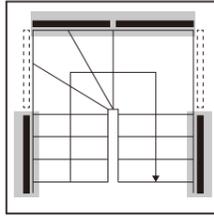
■取付け手順

1 墨出し(直線部・奥側壁面部)

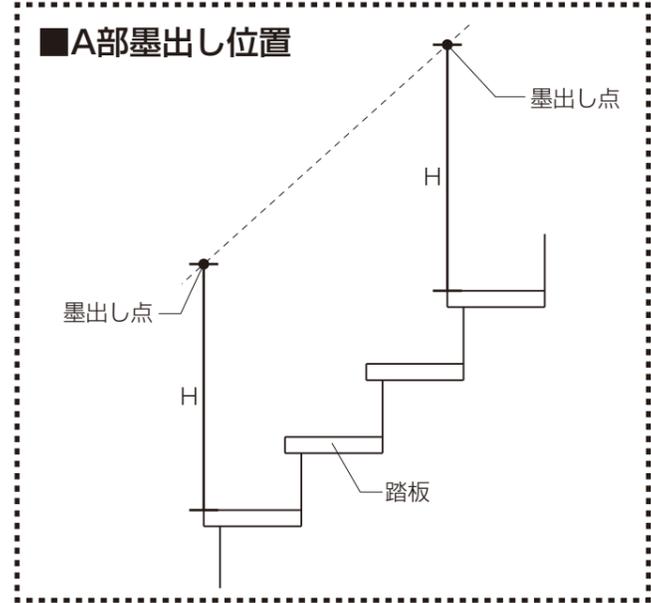
1-1 手すり高さの墨出し

①段鼻から手すり棒上面までの高さ寸法(H)を出し、手すり棒上面の点を墨出ししてください。

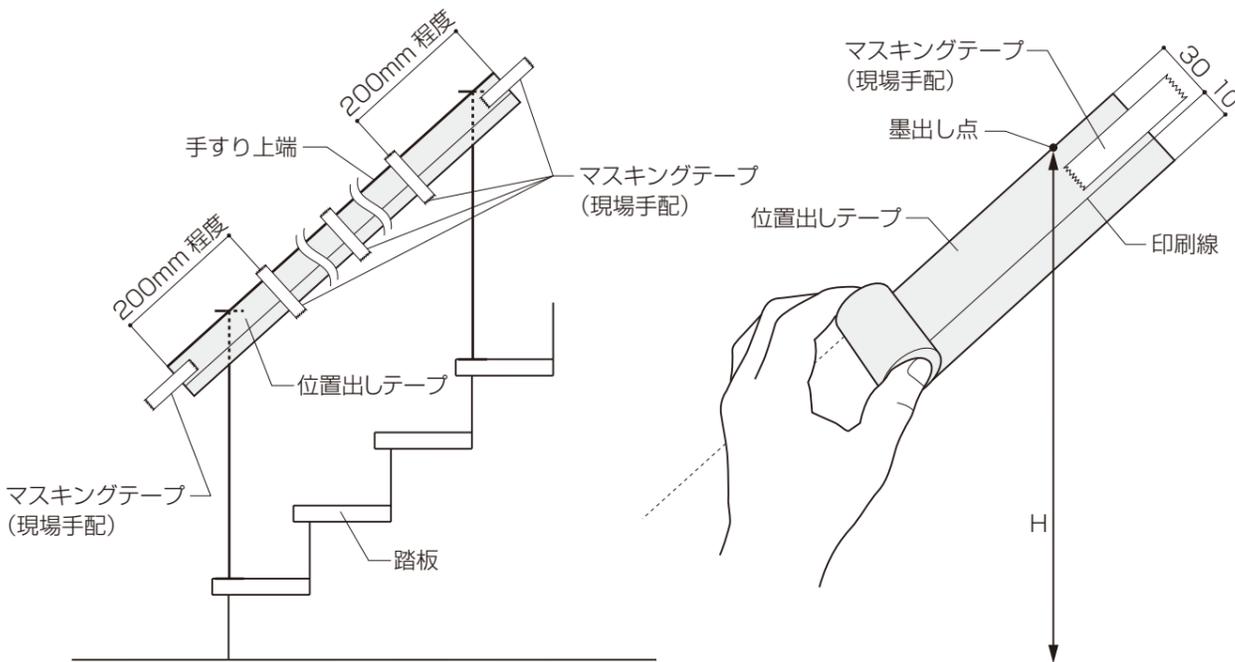
■A部



■A部墨出し位置



②墨出した手すり棒上面の点に合わせて、位置出しテープをマスキングテープ(現場手配)で壁面に貼り付けしてください。
※下図の向きで、位置出しテープを貼り付けしてください。

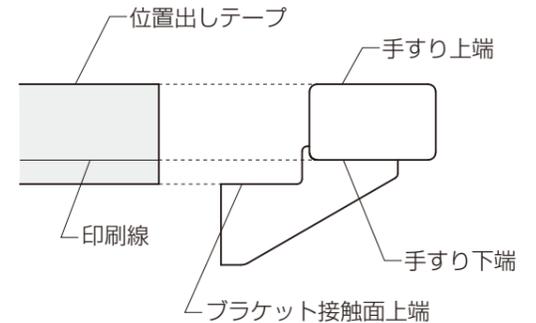


お願い

※マスキングテープの貼り付けには、クロスを傷めないように注意し、必ず低粘着の物をご使用ください。

■位置出しテープについて

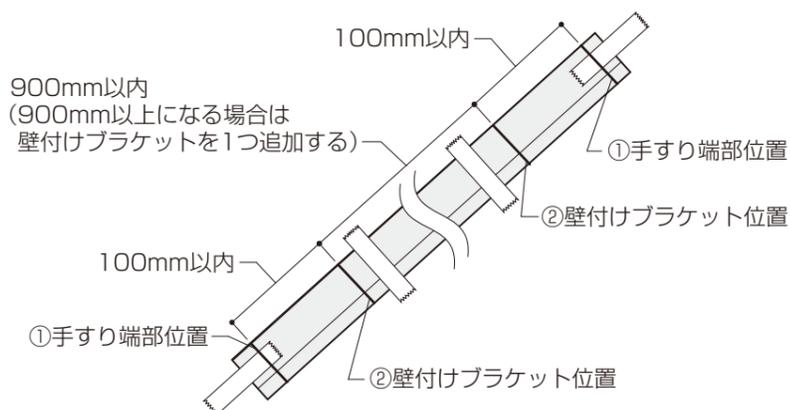
位置出しテープの印刷線および幅が、手すりの施工の墨出し線になります。位置出しテープの下端はブラケットと壁の接触面上端の墨出し線になります。



1-2 手すり端部とブラケット位置の墨出し

■直線部の場合

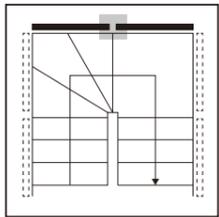
①位置出しテープ上手すりの端部の位置を出します。
②手すりの端部から100mm以内になるように壁付けブラケットの位置を墨出ししてください。



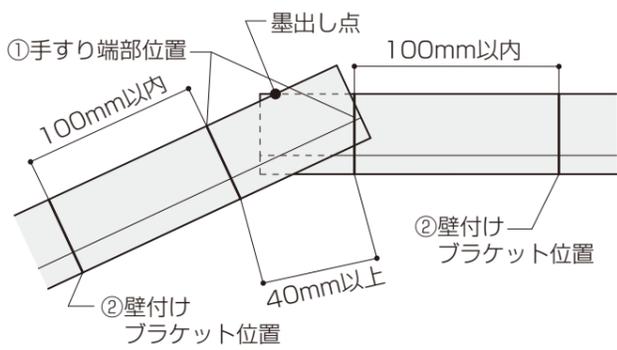
■直線部から勾配部つなぎ目の場合

- ①手すりの間隔を 40 mm以上離して、手すりの端部位置を墨出しします。
- ②手すりの端部から 100mm 以内になるように壁付けブラケットの位置を墨出ししてください。

■B部



■B部詳細図



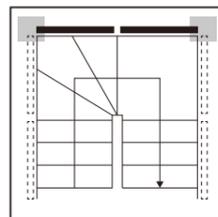
▲注意

- 手すり端部の間隔を40mm以上離してください。40mm未滿にすると指が挟まるおそれがあります。

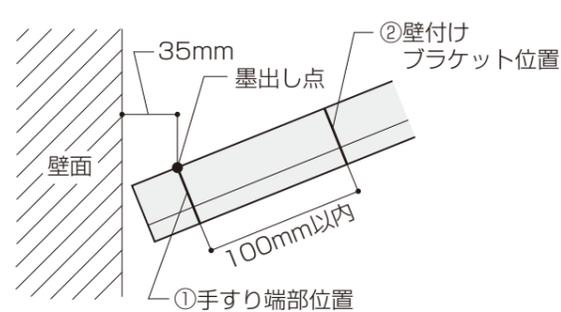
■入隅部の場合

- ①壁面から 35 mmの位置に手すりの端部位置を墨出しします。
 - ②手すりの端部から 100mm 以内になるように壁付けブラケットの位置を墨出ししてください。
- ※廻り側面部の墨出しは、直線部・奥側壁面部の手すりを取付けた後におこないます。

■C部



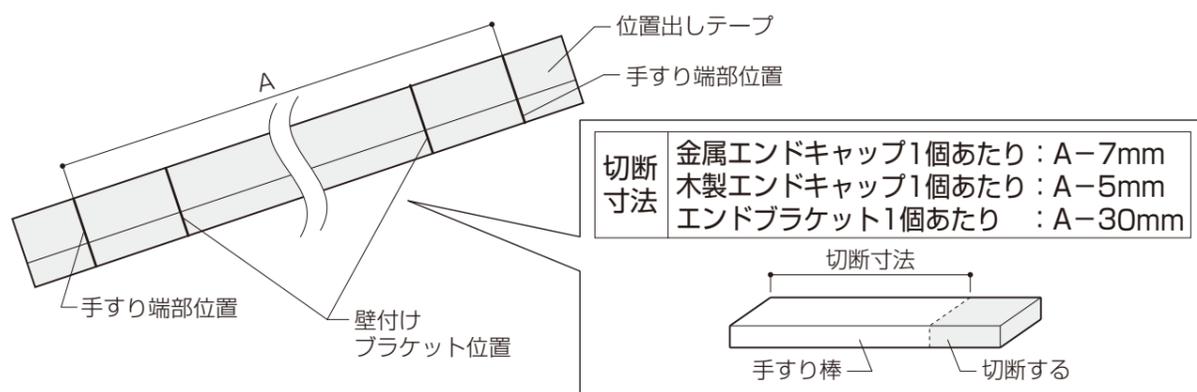
■C部詳細図



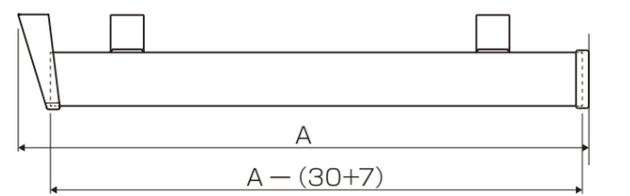
■2 ブラケットの仮固定と手すり棒の取付け(直線部・奥側壁面部)

■2-1手すり棒の切断

- ①手すり端部の墨出し位置に合わせて、手すり棒を切断します。
- ②手すり棒の両端にエンドキャップまたはエンドブラケットを取付けることを考慮し、下記の寸法で手すり棒を切断してください。



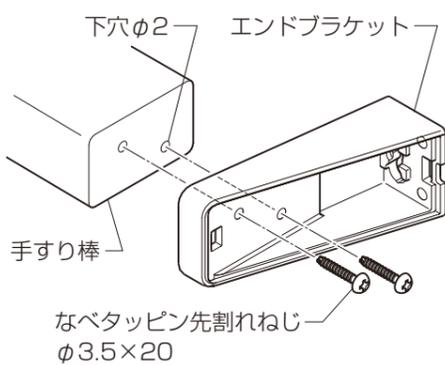
■エンドブラケット・金属エンドキャップ使用の場合



■2-2端部品の取付け

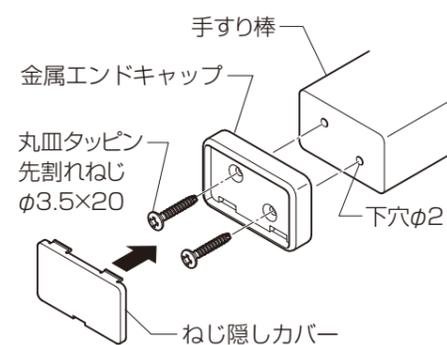
●エンドブラケットの取付け

- ①エンドブラケットの手すり棒取付け穴に合わせて、手すり棒に下穴(φ 2mm)をあけます。
- ②なべタッピン先割れねじφ 3.5 × 20 (2本)で、手すり棒をエンドブラケットに取付けます。



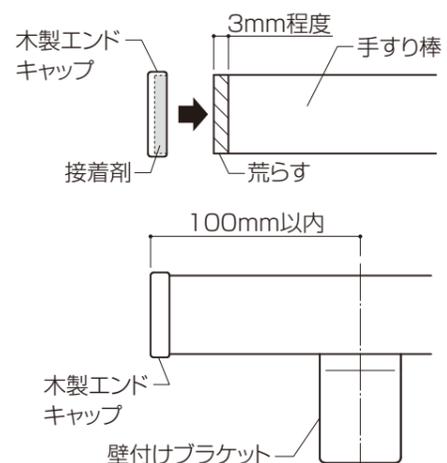
●金属エンドキャップの取付け

- ①金属エンドキャップの手すり棒取付け穴に合わせて、手すり棒に下穴(φ 2mm)をあけます。
- ②丸皿タッピンねじ先割れ 3.5 × 20 で手すり棒を金属エンドキャップに取付けます。
- ③ねじ隠しカバーをはめ込んでください。



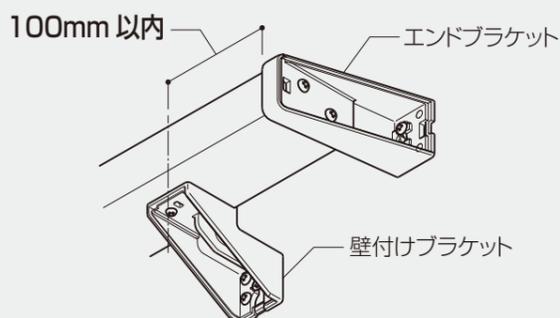
●木製エンドキャップの取付け

- ①手すり棒の切断面が垂直であることを確認します。
※接着不良防止のため、必ず垂直にしてください。
- ②木製エンドキャップ取付部の手すり棒表面を 3mm 程度荒らします。
- ③木製エンドキャップの内側に、接着剤(木工用・現場手配)を塗布します。
- ④木製エンドキャップを手すり棒にはめ込み、接着剤が固まるまで待ちます。
※ブラケット中心より 100mm 以内に端部がくるように取付けてください。



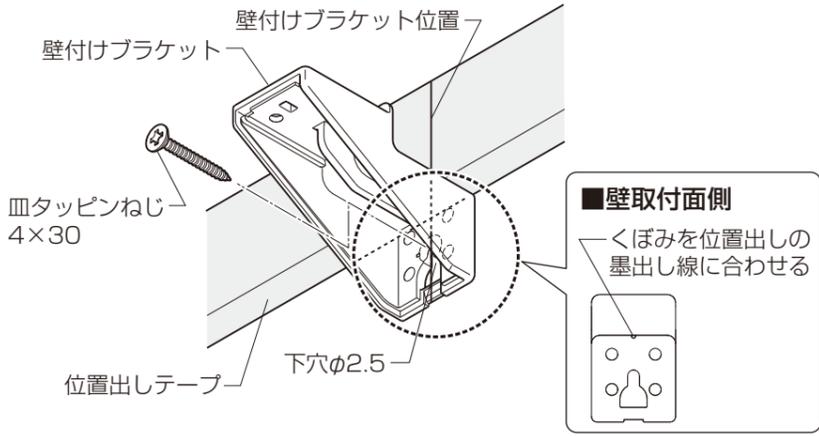
▲注意

- エンドブラケットから100mm以内に壁付けブラケットを取付けてください。壁付けブラケットを取付けないと手すりが脱落するおそれがあります。

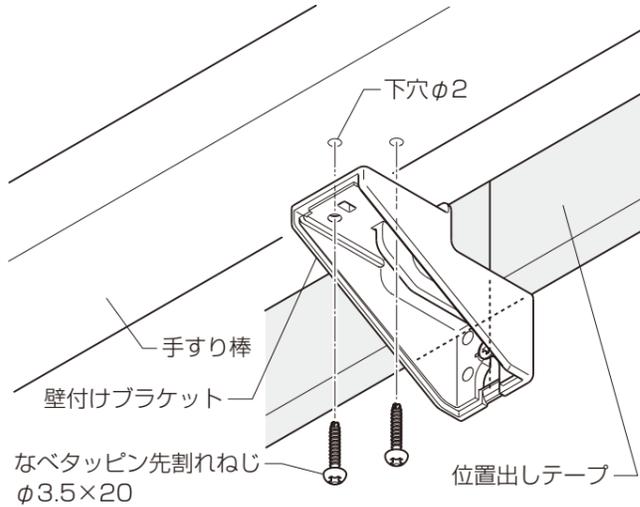


2 -3ブラケットの仮固定と手すり棒の取付け

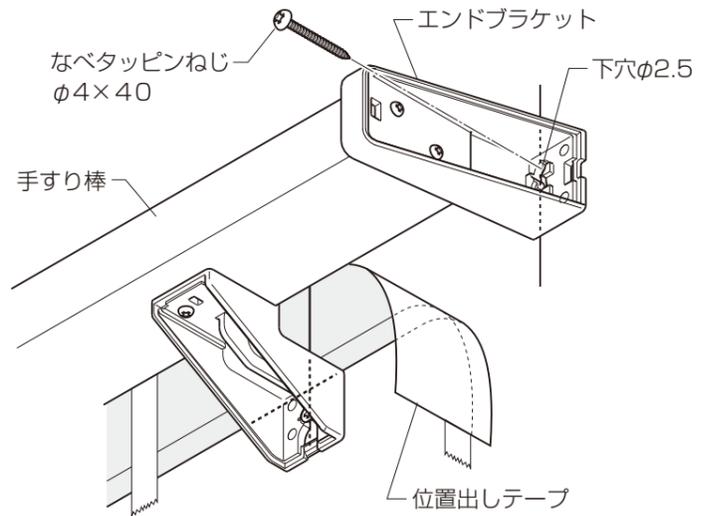
- ①墨出し線に合わせて壁付けブラケット位置を合わせます。
- ②壁に下穴 (φ 2.5mm) をあけ、着脱用ねじ (皿タップピンねじφ 4 × 30) で壁付けブラケットを仮固定します。



- ③手すり棒を壁付けブラケットに乗せ、墨出し線に合わせて手すり端部の位置を合わせます。
- ④手すり棒に下穴 (φ 2mm) をあけなベタップピン先割れねじφ 3.5 × 20 (2本) で、手すり棒を壁付けブラケットに取付けます。



- ⑤エンドブラケット部分の位置出しテープ先端部分を外し、壁に下穴 (φ 2.5mm) をあけ、着脱用ねじ (なベタップピンねじφ 4 × 40) でエンドブラケットを仮固定します。



▲ 注意

- 仮固定中の手すりとブラケットを故意に揺すったり、力を加えないでください。手すりが脱落するおそれがあります。

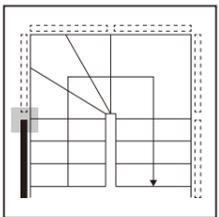
3 墨出し(廻り側面部)

3 -1 手すり高さの墨出し

■ 直線部との接続部の場合

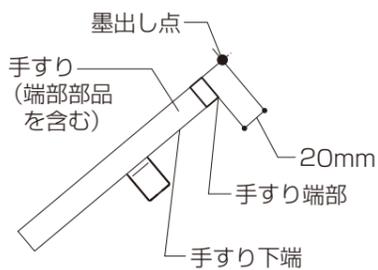
取付け済みの直線部手すりの端部から 20mm の位置に、墨出し点を出してください。

■ D部

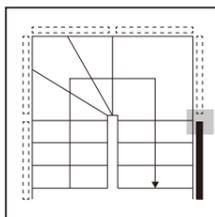


■ D部詳細図

取付け位置が上側

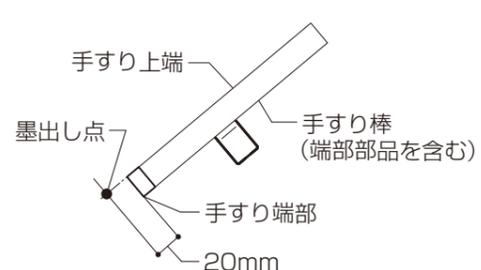


■ E部



■ E部詳細図

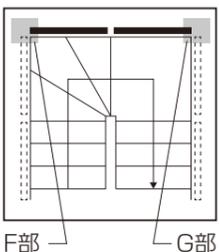
取付け位置が下側



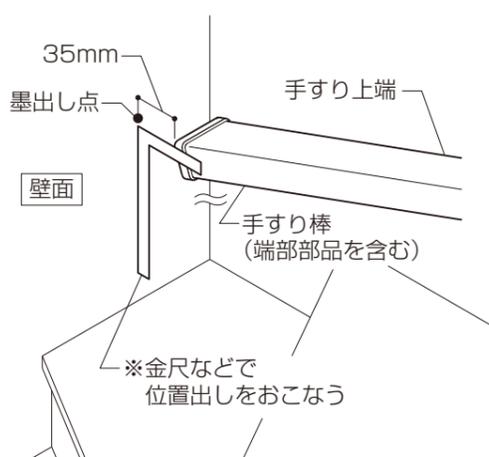
■ 入隅部の場合

取付けを行う壁面に、取付け済みの奥側壁面部の手すりの高さを墨出ししてください。

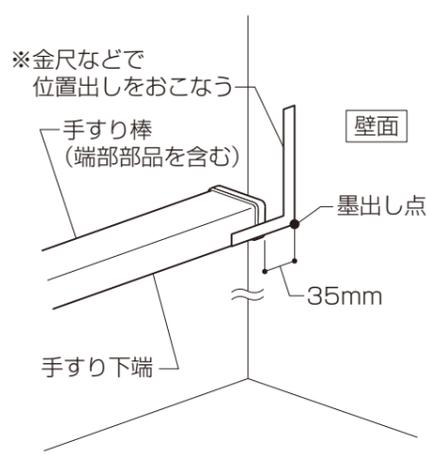
■ F部/G部



■ F部詳細図



■ G部詳細図



③墨出し点に合わせて、同梱の「位置出しテープ」をマスキングテープ等で壁面に貼り付けてください。

- ・ 取付位置が上側に来る場合 ⇒ 紙テープの印刷線を墨出し点に合わせる
- ・ 取付位置が下側に来る場合 ⇒ 紙テープの上端部を墨出し点に合わせる

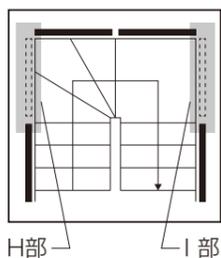
④手すりの間隔を 40 mm 以上離して、手すりの端部位置を墨出しします。

⑤手すりの端部から 100mm 以内になるようにブラケットの位置を墨出ししてください。

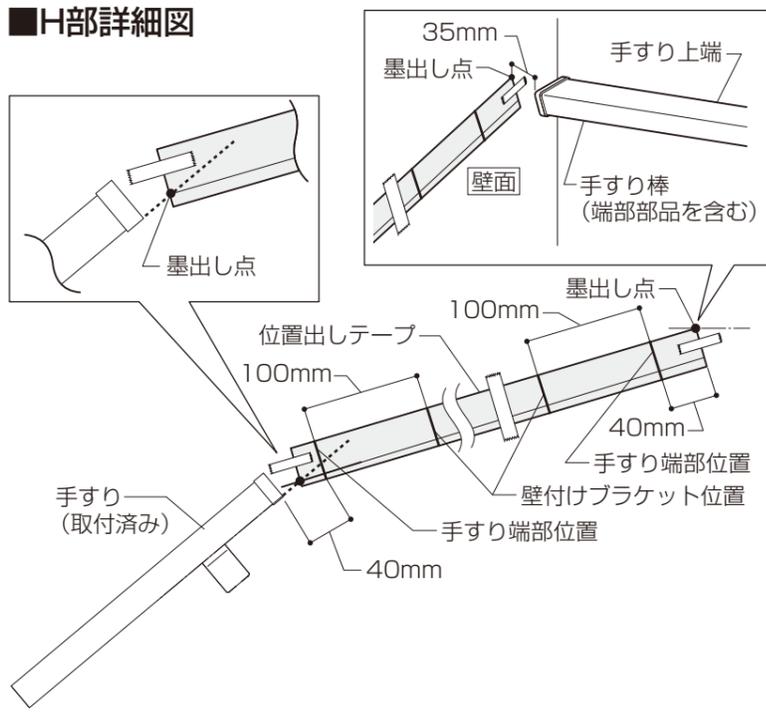
▲ 注意

●手すり端部の間隔を40mm以上離してください。40mm未満にすると指が挟まるおそれがあります。

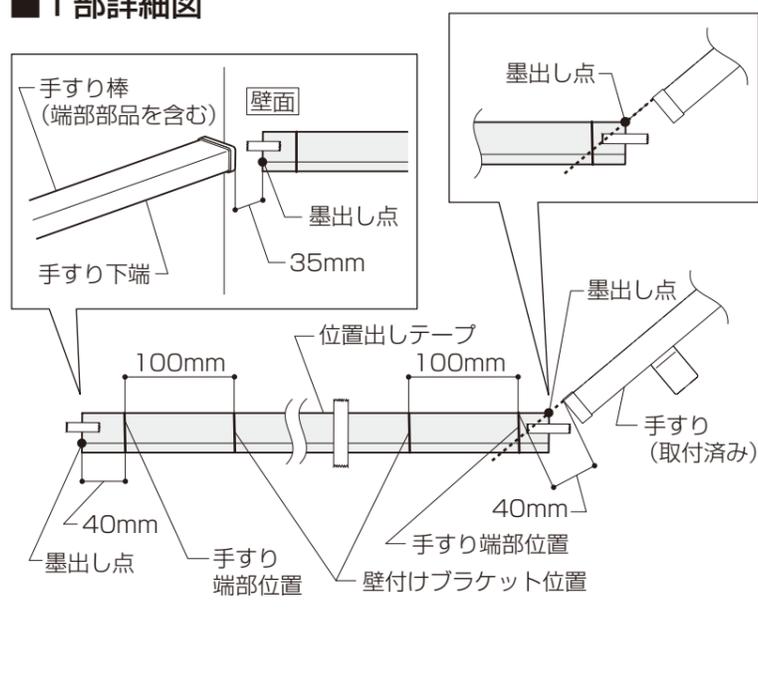
■H部/I部



■H部詳細図



■I部詳細図



4 ブラケットの仮固定と手すり棒の取付け(廻り側面部)

「2

クロス張りをする場合⇒「5

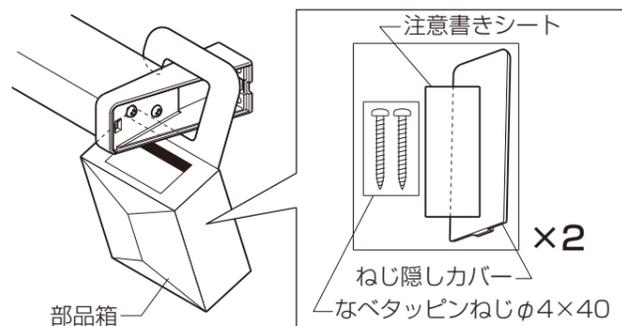
クロス張りをしない場合⇒「6

■本施工用ねじについて

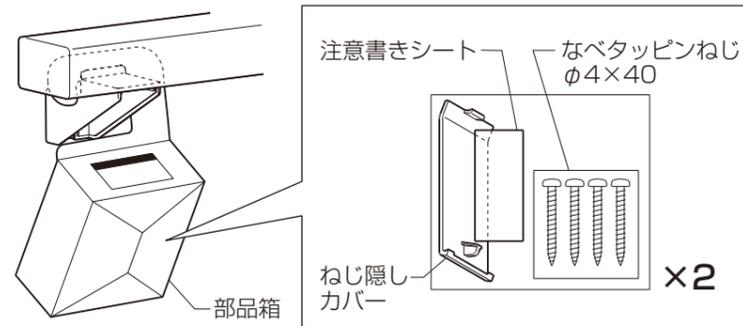
本施工用ねじ (エンドブラケット: なべタッピンねじφ4×40 (2本)、壁付けブラケット: なべタッピンねじφ4×40 (4本))、ねじ隠しカバーは部品箱に入れて保管します。(クロス張りをする場合のみ)

※部品箱の注意書きが見えるようにそれぞれのブラケットに引っ掛けてください。

●エンドブラケット



●壁付けブラケット



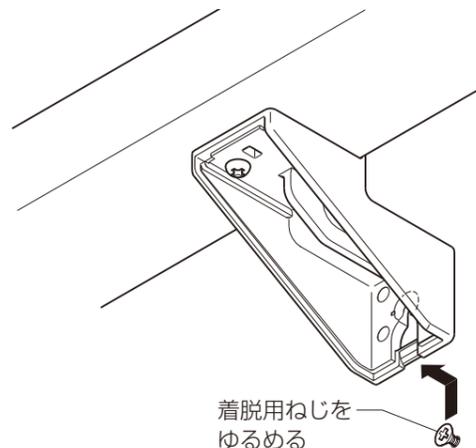
▲ 注意

●仮固定中の手すりとブラケットを故意に揺すったり、力を加えないでください。手すりが脱落するおそれがあります。

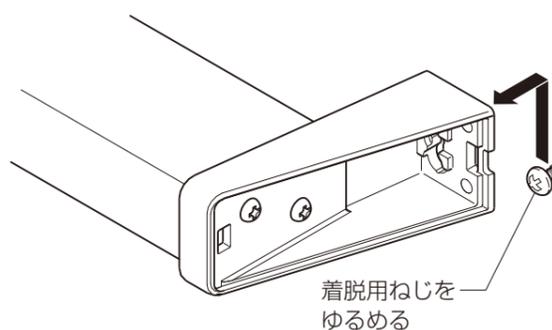
5 ブラケットの取り外し(クロス張りする場合のみ)

着脱ねじをゆるめ、手すり棒とブラケットを取り外してください。

●壁付けブラケットの取り外し



●エンドブラケットの取り外し

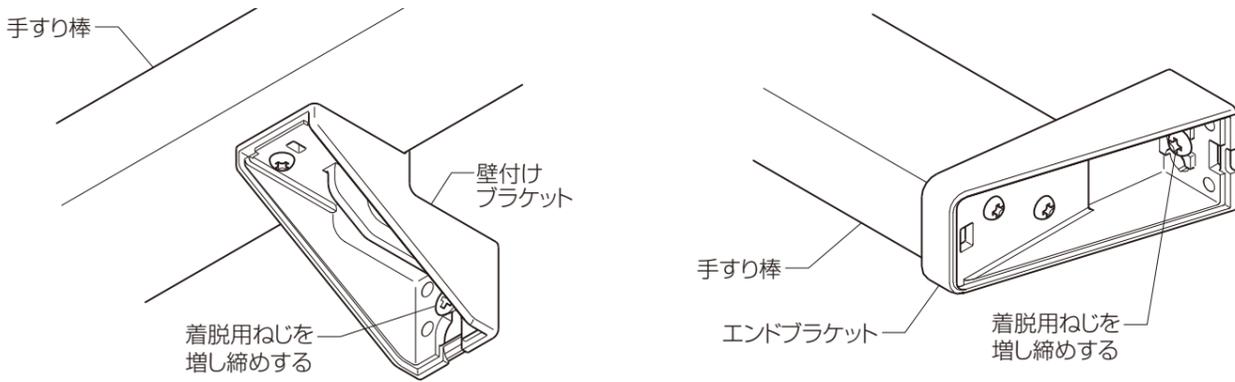


お願い
※ブラケット取り外し後、部品箱をなくさないように保管してください。

6 ブラケットの本固定

6-1 ブラケットの再取付け(クロス張りをした場合のみ)

- ①ゆるめていた着脱用ねじにブラケットをはめ込みます。
- ②着脱用ねじを増し締めしてください。



▲ 注意

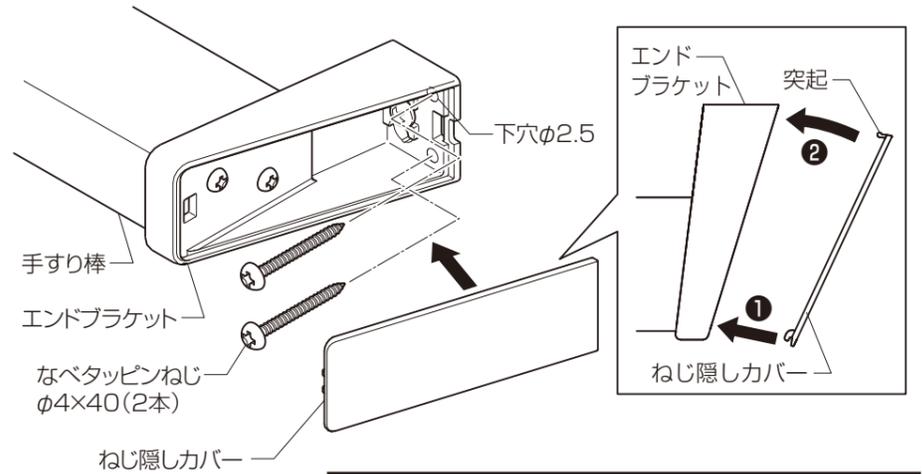
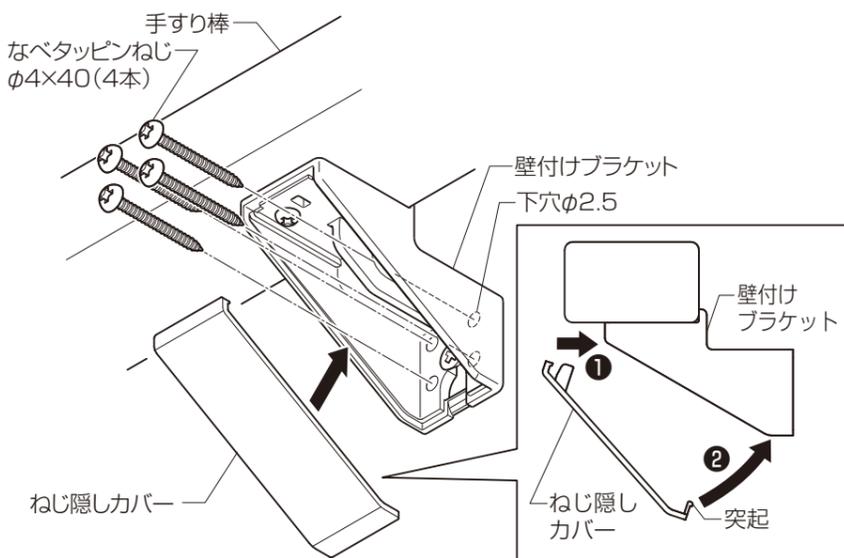
●着脱用ねじを増し締めしてください。増し締めをしないと手すりが脱落するおそれがあります。

6-2 ブラケットの本固定

- ①壁に下穴 (φ 2.5mm) をあけ、各ブラケットを本固定ねじ (壁付けブラケット: なベタッピンねじφ 4 × 40 (4本)、エンドブラケット: なベタッピンねじφ 4 × 40 (2本)) で本固定します。
- ②各ブラケットや手すり棒にガタツキが無いことを確認してから、ねじ隠しカバーを取付けます。ねじ隠しカバー両端の突起をブラケットに引っ掛けるようにして取付けてください。

●壁付けブラケットの取付け

●エンドブラケットの取付け



▲ 注意

●本施工用のねじで必ず本固定をしてください。本固定をしないと手すりが脱落するおそれがあります。

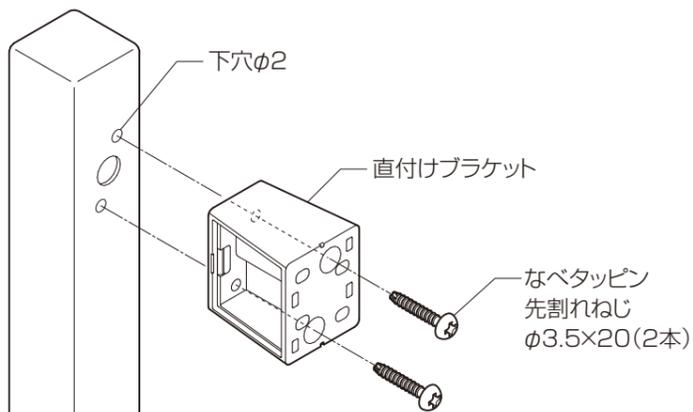
お願い

※ねじ隠しカバーがしっかり付いていることを確認してください。

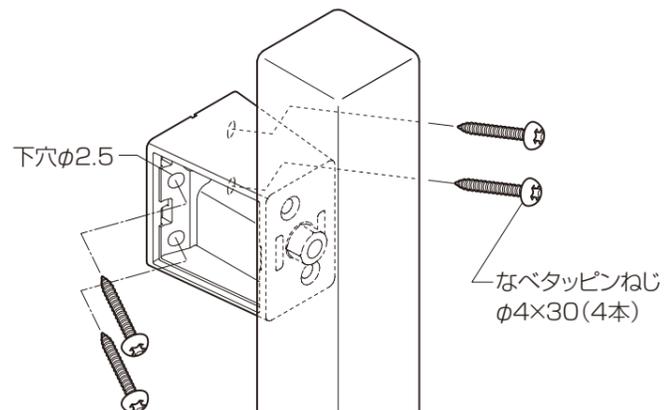
7 I型 / L型の施工

■直受けブラケットの取付け

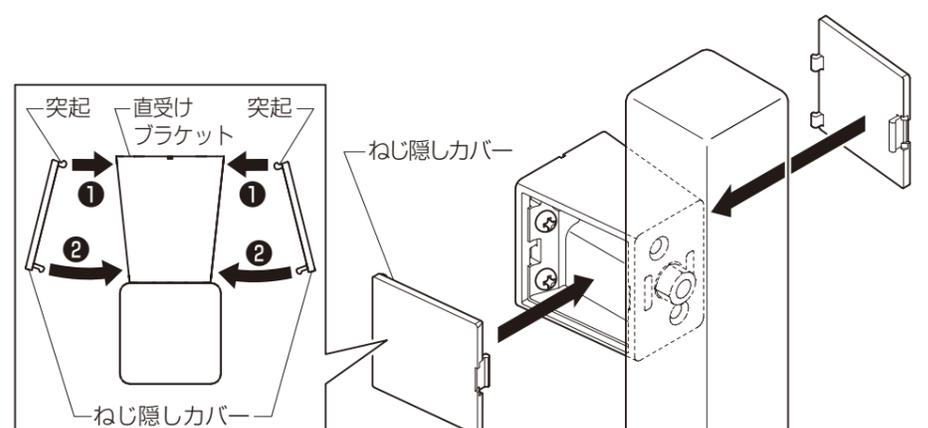
- ①上下2カ所の手すり棒の穴に、直受けブラケットの上側の出っ張りを差し込み、位置決めします。金具の位置を手すり棒の中心に合わせて下穴 (φ 2mm) をあけます。
- ②なベタッピン先割れねじ 3.5 × 20 (2本) で手すり棒をエンドブラケットに取付けます。



- ③壁に下穴 (φ 2.5mm) をあけ、なベタッピンねじ 4 × 30 (4本) で壁に固定します。

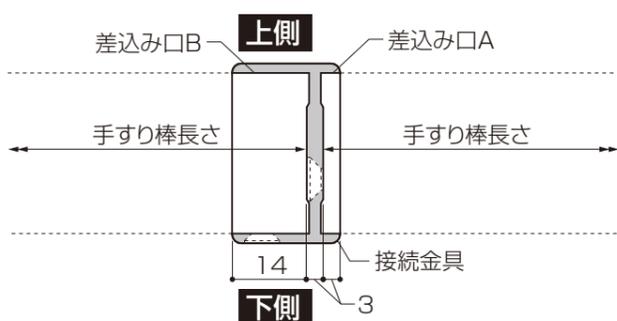


- ④直受けブラケットにねじ隠しカバーを取付けます。ねじ隠しカバー両端の突起をブラケットに引っ掛けるようにして取付けてください。

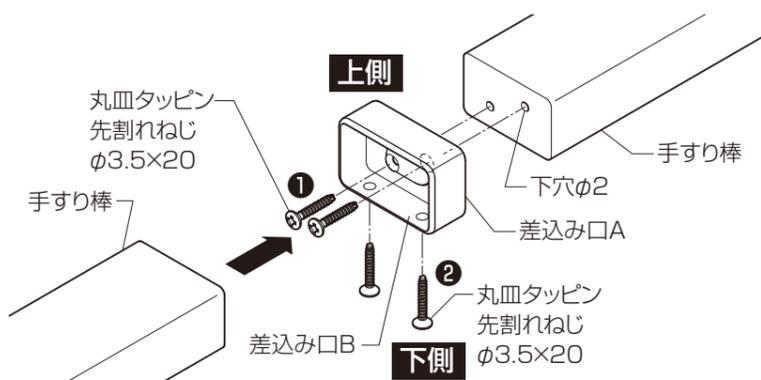


8 接続金具の取付け

①接続金具の差込み口に A・B 手すり棒が下図のように入ることを見込んで、手すり棒を切断します。



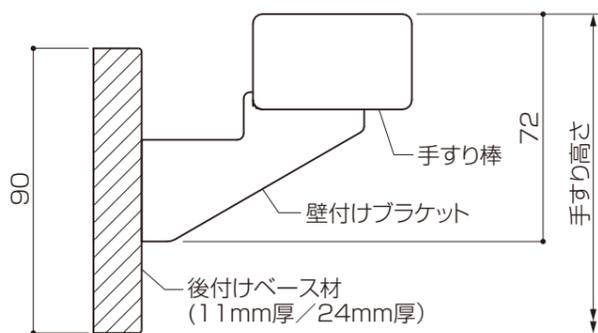
- ②手すり棒に下穴 (φ 2mm) をあけます。
- ③接続金具の差込み口 A に手すり棒を差し込み、丸皿タッピン先割れねじ 3.5 × 20 (2 本) で固定します。
- ④接続金具の差込み口 B に手すり棒を差し込み、丸皿タッピン先割れねじ 3.5 × 20 (2 本) で下側から固定します。



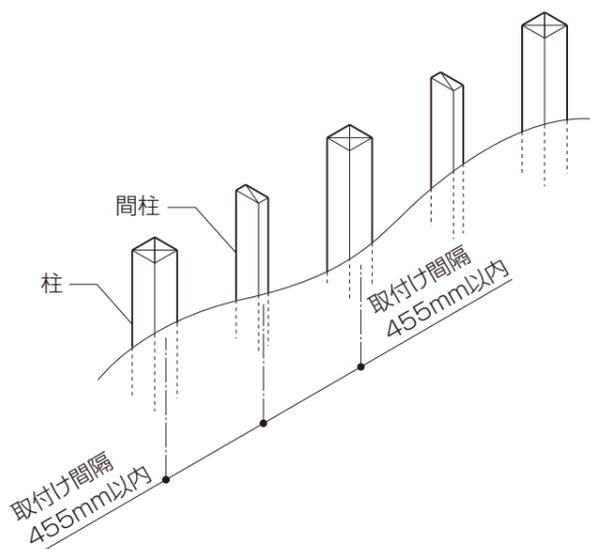
9 後付けベース材の取付け

■取付け前の準備

①下図の寸法をもとに、手すり設置高さから後付けベース材の取付け高さを決めます。



②柱・間柱などの構造体の位置や幅を確認します。



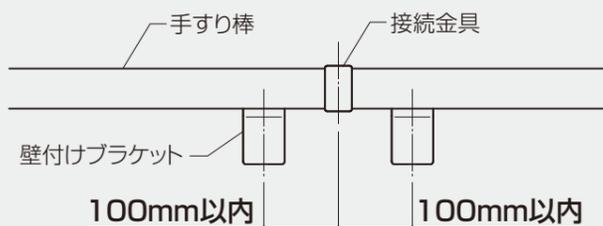
お願い

- ※柱・間柱が水平方向に455mm以内の間隔で入っていることを確認してください。
- ※木造軸組工法の場合は柱・間柱・受桟など、2×4工法の場合は縦枠・構造用下張り合板などの配置位置や幅なども合わせて確認してください。

▲注意

●手すり脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・接続金具を使用する場合は、接続金具の両端100mm以内に壁付けブラケットを取付けてください。

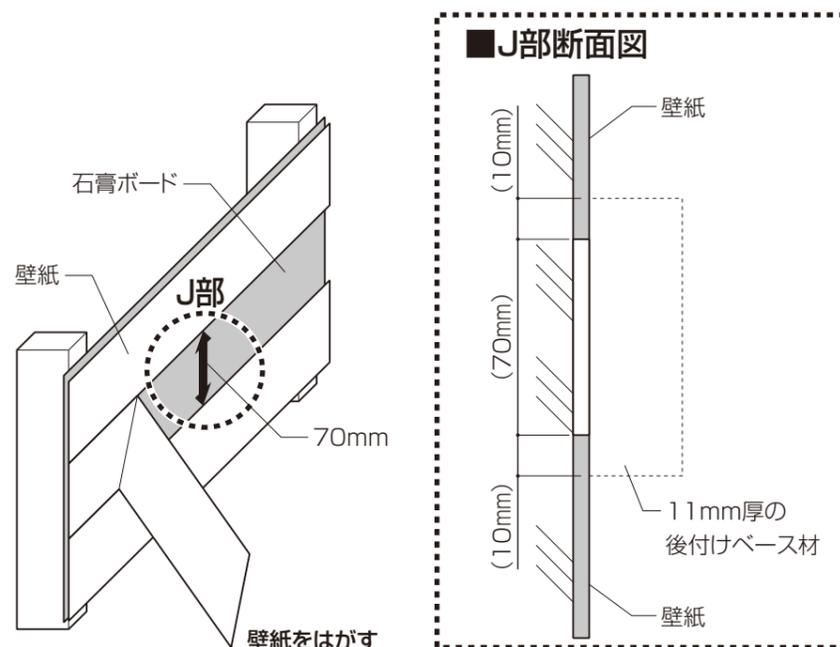


- ・手すり棒を、接続金具の奥まで差込んで固定してください。
- ・手すり棒には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

■11mm厚の後付けベース材を壁紙の上から取付ける場合

下図を参照して、事前に壁紙をはがしてください。

※後付けベース材と壁紙が上下10mmずつ重なるようにしてください。

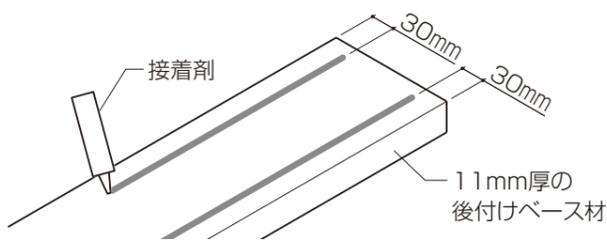


▲注意

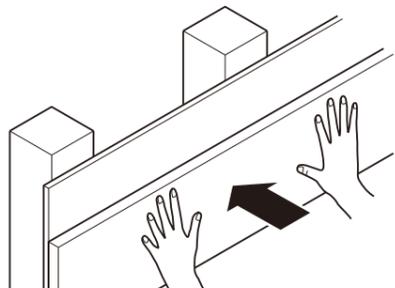
- 後付けベース材を使用する場合は、ねじ固定の間隔を水平方向に455mm以内にしてください。ねじ固定の間隔が広いと手すりが脱落するおそれがあります。

■接着剤の塗布(11mm厚の後付けベース材を使用する場合のみ)

- ①接着剤は、後付けベース材の上下端より30mmのところ塗布してください。
 ※塗布量目安：(接着剤塗布1本につき) 10g/mを上下に2本。



- ②後付けベース材を構造材にねじ固定する前に十分に壁に圧縮してください。接着剤の厚みにより壁との間にすき間ができやすくなります。
 ※接着剤がはみ出した場合にはすぐに拭きとってください。



【重要】

◆接着剤塗布量の目安◆

ノズルカット

7~8mm



接着剤

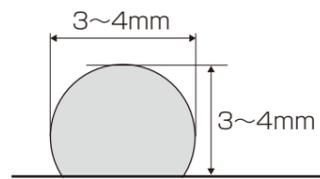


接着剤

ノズル口径: 2~3mm

SG-1(変成シリコン樹脂系接着剤)

塗布量の目安



■後付けベース材・後付けベース専用端部材の取付け

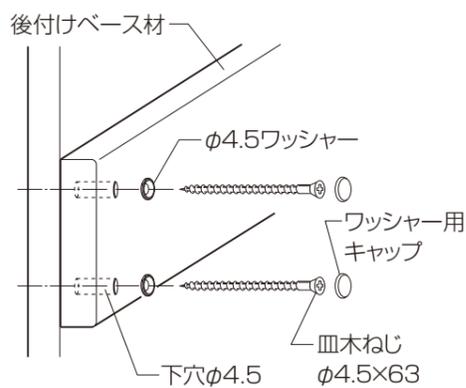
- ③①②から、後付けベース材の取付け位置を決めます。
 ④後付けベース材に下穴(φ4.5mm)をあけ、φ4.5ワッシャーと皿木ねじφ4.5×63で後付けベース材を構造材に固定します。
 ⑤ワッシャー用キャップをはめこみます。
 ⑥後付けベース材専用端部材に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘で取付けます。

※取付け後、接着剤がはみ出した場合はすぐに拭きとってください。

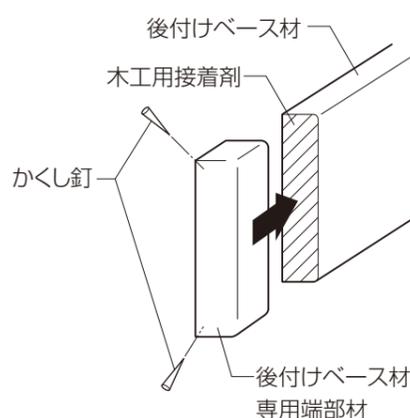
▲注意

- 手すり脱落の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・後付けベース材を使用する場合は、ねじ固定の間隔を水平方向に455mm以内にしてください。
- ・後付けベース材は柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- ・後付けベース材には、指定のねじ取付け用下穴をあけてください。

■後付けベース材の取付け

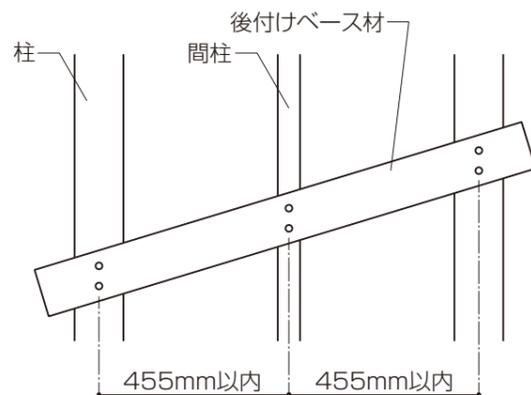


■後付けベース材専用端部材の取付け

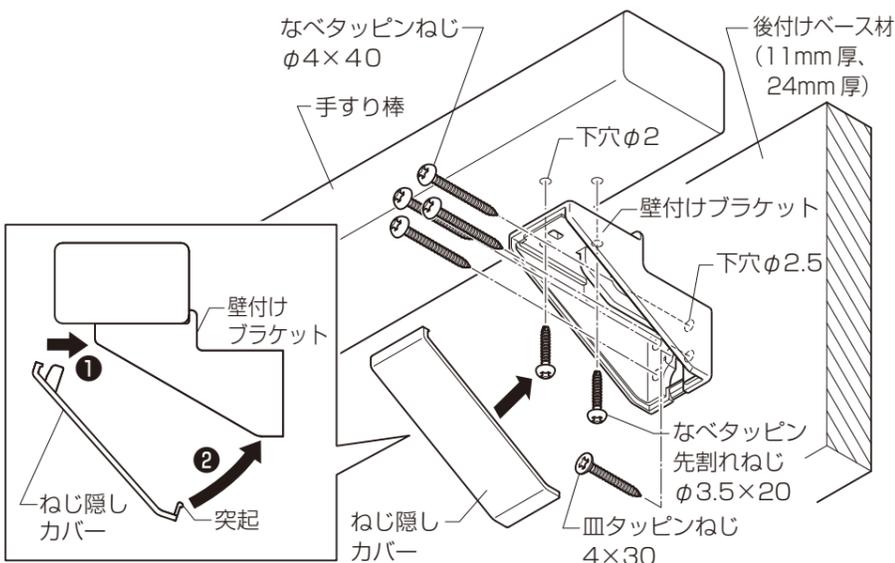


■ブラケットの取付け(後付けベース材に取付ける場合)

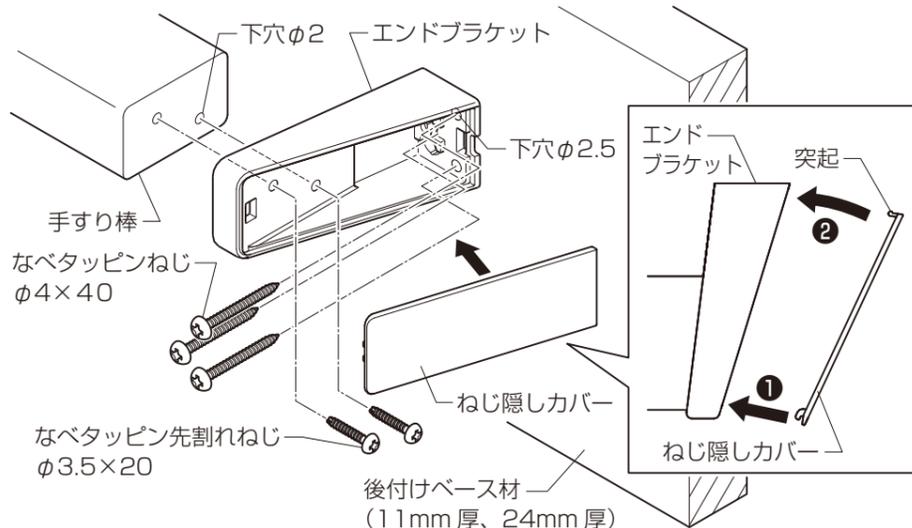
- ①実際の使用に合わせ、手すりの設置高さを決めます。
 ②手すり設置高さより、各ブラケットの高さを決めます。
 ③下地材・接続部材・手すり棒長さより、各ブラケットの横位置を決めます。
 ④手すり棒にエンドブラケットをはめ込み、取付け穴を合わせて下穴(φ2mm)をあけます。
 ⑤エンドブラケットをなべタッピン先割れねじφ3.5×20(2本)で手すり棒に取付けます。
 ⑥取付け位置を決め、後付けベース材に下穴(φ2.5mm)をあけ、各ブラケットを固定します。
 ●使用するねじ 壁付けブラケット: 皿タッピンねじφ4×30(1本)、なべタッピンねじφ4×40(4本)
 エンドブラケット: なべタッピンねじφ4×40(3本)
 ⑦壁付けブラケットの手すり棒取付け穴に合わせて、手すり棒に下穴(φ2mm)をあけ、なべタッピン先割れねじφ3.5×20(2本)で壁付けブラケットに固定します。
 ⑧各ブラケットや手すり棒にガタツキがないことを確認してから、ねじ隠しカバーを取付けます。ねじ隠しカバー両端の突起をブラケットに引っ掛けるようにして取付けてください。



●壁付けブラケットの取付け



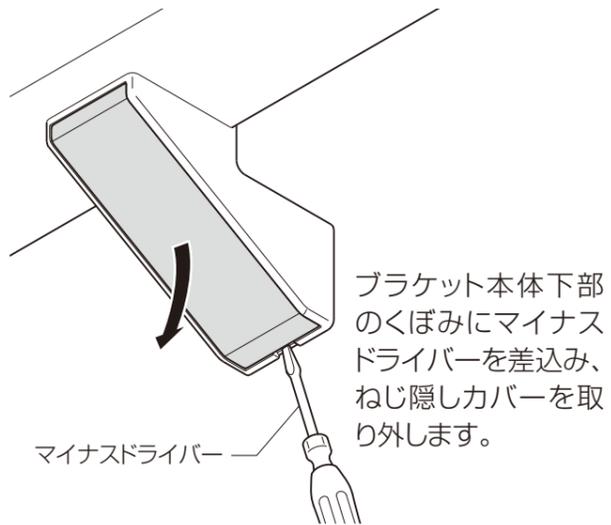
●エンドブラケットの取付け



■施工後の確認

- 取付け完了後、取付ねじのゆるみがないか確認してください。
- 取付け完了後、手すりをゆすってもガタツキのないことを確認してください。
- すき間やガタツキがある場合は、ねじ隠しカバーを取り外して各部が確実に締結されているか確認してください。ねじ隠しカバーを取り外す場合は、凹部にマイナスドライバーなどを差し込んで外してください。

●壁付けブラケットの場合



●直受けブラケットの場合

